



Japan Council for Evaluation of Postgraduate Clinical Training

JCEP

臨床研修評価 調査結果報告書

Pg20160062

社会医療法人母恋 天使病院

天使病院臨床研修プログラム

平成 29 年 4 月 10 日

NPO 法人 卒後臨床研修評価機構

ご挨拶

日頃から、NPO 法人 卒後臨床研修評価機構の事業の運営に当たりましては、何かとご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、貴院の臨床研修における調査結果を報告申し上げます。

当評価機構は、臨床研修プログラムを中心とした第三者による臨床研修評価を行い、医療の発展に寄与するとともに、臨床研修病院群の質の向上を図ることを目的としています。本調査から得られた結果が、今後の貴院における臨床研修の質の向上のために資することになれば幸甚です。

また、本評価機構は評価体系、および臨床研修評価を実施するうえでの諸問題等について研究し、このような研究活動を通して医療の質の向上と社会貢献を目指します。本調査結果、および評価項目等についてのご意見やご要望をいただくことができれば誠にありがたく存じます。

今後とも、宜しくご支援とご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

末筆になりましたが、貴院の一層のご発展をお祈り申し上げます。

平成 29 年 4 月 10 日

NPO 法人 卒後臨床研修評価機構
理 事 長 高 久 史 麿
評価委員長 有 賀 徹

臨床研修評価 調査結果報告書について

▶報告書の構成

1. 対象病院ならびにプログラム名
2. 臨床研修指定区分
3. 評価のまとめ※1
4. 大項目別評価※2
5. 評価結果一覧※3

※1 評価のまとめ

病院の臨床研修病院としての役割や性格を踏まえたうえで、主に臨床研修プログラムを中心とした所見を述べています。

大項目間の評価結果の相対的なバランスについて指摘すべきことがある場合は、その点についても記述してあります。

※2 大項目別評価

大項目別に、中項目の評価結果を「適切と評価された項目」と「検討を要する内容が見られた項目」、および「改善を要すると評価された項目」として示したものです。

※3 評価結果一覧

- ・各評価項目の評価結果を示したものです。
- ・中項目評価は 3 段階で行われ「適切」、「要検討」、「要改善」で表記しました。
- ・小項目評価は 3 段階で行われ「a」、「b」、「c」で表記しました。
- ・小項目において「b」、「c」と判定された項目については、所見が記載されます。

評価項目の構造

- | | |
|---------------|----------------------------|
| 大項目「Pg.○」 | : 臨床研修評価の対象領域における枠組みを表す項目 |
| 中項目「Pg.○.○」 | : 直接評価の対象となる項目 |
| 小項目「Pg.○.○.○」 | : 各中項目を客観的かつ的確に判定するための指標項目 |

臨床研修評価 調査結果報告書

1. 対象病院ならびにプログラム名： 天使病院
天使病院臨床研修プログラム
2. 臨床研修指定区分： 基幹型臨床研修病院

上記について、臨床研修評価について standard:October 2015 を用いて行いましたので、その結果の概要を報告いたします。

3. 評価のまとめ

貴院は地域の分娩・婦人科医療と小児医療の病院としての高い質と長い歴史を誇る病院であり、研修医もまたそれらに魅力を感じて応募しています。そのまま後期研修に進む修了者も多く見られます。前回の訪問調査での指摘事項について多くの改善点が見られ、臨床研修病院としての院内全体の意欲には強いものがあります。ただ、カンファレンスの出席状況やインシデントレポート等の記録、規則等の文書化と、それらを活かす院内の仕組み作りの点で検討の余地が残っています。医師以外の職種活用の余地もあります。また、医療関係者以外の患者やその家族、地域住民等から積極的に評価を受け、研修の質向上に結びつけるサイクルを強化する余地もあります。研修医の数が増え、事務作業が増加していますが、専任の事務担当者がおらず、指導医やプログラム責任者の負担が相対的に重くなっています。また、シミュレーターの整備と維持も求められます。引き続き、特色のある、質の高い研修を継続できるよう一層の検討を進め、改善していただければ幸いです。貴院の臨床研修が益々御発展されますことを祈念いたします。

4. 大項目別評価

Pg.1 臨床研修病院としての役割と理念・基本方針

【適切と評価された項目】

Pg.1.1 臨床研修の理念・基本方針が確立されている

【検討を要する内容がみられた項目】

Pg.1.2 臨床研修病院としての役割が明確になっている

【改善を要すると評価された項目】

特になし

Pg.2 臨床研修病院としての研修体制の確立

【適切と評価された項目】

【検討を要する内容がみられた項目】

Pg.2.1 研修管理委員会が確立している

Pg.2.2 臨床研修が組織的・計画的になされる体制がある

【改善を要すると評価された項目】

特になし

Pg.3 臨床研修病院としての教育研修環境の整備

【適切と評価された項目】

【検討を要する内容がみられた項目】

Pg.3.1 臨床研修病院としての教育研修体制が適切である

Pg.3.2 患者の診療に関する情報を適切に管理している

Pg.3.3 医療に関する安全管理体制の確保がなされている

Pg.3.4 研修をサポートするための設備が整備されている

【改善を要すると評価された項目】

特になし

Pg.4 研修医の採用・修了と組織的位置付け

【適切と評価された項目】

Pg.4.2 研修医の募集および採用が計画的になされている

Pg.4.3 研修医の研修規程が明確である

Pg.4.5 臨床研修の修了の手続きが適切である

Pg.4.6 個々の研修医に関する研修記録等が整理・保管されている

【検討を要する内容がみられた項目】

Pg.4.1 研修医の募集・採用の方法が適切である

Pg.4.4 研修医に対する適切な処遇が確保されている

【改善を要すると評価された項目】

特になし

Pg.5 研修プログラムの確立

【適切と評価された項目】

Pg.5.1 研修プログラムが適切に策定されている

Pg.5.2 研修プログラムが研修プロセス(計画、目標、方略、評価)に沿って実施され、評価されている

Pg.5.3 「医療人として必要な基本姿勢・態度」が身につけられる内容がプログラムの中に適切に組み込まれている

Pg.5.5 経験すべき症状・病態・疾患について鑑別診断、初期治療を行う能力が身につけられる内容が適切に組み込まれている

【検討を要する内容がみられた項目】

Pg.5.4 「経験すべき診察法・検査・手技」が身につけられる内容がプログラムの中に適切に組み込まれている

【改善を要すると評価された項目】

特になし

Pg.6 研修医の評価

【適切と評価された項目】

Pg.6.1 研修医を評価するシステムが確立され、実施されている

Pg.6.2 研修医ごとに評価結果に応じて研修医への対応が適切になされている

【検討を要する内容がみられた項目】

特になし

【改善を要すると評価された項目】

特になし

Pg.7 研修医の指導体制の確立

【適切と評価された項目】

Pg.7.1 指導体制・診療上の責任者が明示されている

Pg.7.2 研修医が行う診療行為に対してチェックする体制がある

【検討を要する内容がみられた項目】

Pg.7.3 臨床研修指導医の評価が適切に行われている

【改善を要すると評価された項目】

特になし

Pg.8 修了後の進路

【適切と評価された項目】

Pg.8.1 自施設や他施設でその後の研修が継続できるように配慮している

Pg.8.2 正規の職員として採用されるシステムが整備されている

【検討を要する内容がみられた項目】

Pg.8.3 修了した医師の生涯にわたるフォロー体制がある

【改善を要すると評価された項目】

特になし

5. 評価結果一覧

Pg.1	臨床研修病院としての役割と理念・基本方針	
Pg.1.1	臨床研修の理念・基本方針が確立されている	適切
Pg.1.1.1	理念・基本方針が明文化されている	a
Pg.1.1.2	院内および臨床研修病院群間で周知・徹底されている	a
Pg.1.1.3	必要に応じて見直されている	a
Pg.1.2	臨床研修病院としての役割が明確になっている	要検討 救急隊や病院ボランティアへのアンケートや病院行事でのアンケートなど、積極的に地域の声を聞く仕組みを検討された
Pg.1.2.1	自院の臨床研修における役割・機能の範囲が適切である	a
Pg.1.2.2	自院の臨床研修における役割・機能の範囲が地域に周知・徹底されている	a
Pg.1.2.3	自院の臨床研修における役割・機能について、地域からの声に耳を傾けている	b 地域から意見を受けるための体系的な仕組みがあるとは言えない

Pg.2	臨床研修病院としての研修体制の確立		
Pg.2.1	研修管理委員会が確立している	要検討	医師以外の委員を含めるようにすること、および委員会の目的と審議内容をカリキュラム委員会と切り分けることについて検討されたい
Pg.2.1.1	研修管理委員会があり、総括責任者・委員の構成が明文化されている	b	委員の構成に医師以外の有識者が含まれていない
Pg.2.1.2	研修管理委員会の規程がある	a	
Pg.2.1.3	研修管理委員会は定期的に開催され、機能している	b	研修管理委員会が年1回の開催と少ない。加えて、審議内容についてカリキュラム委員会との区別が曖昧である
Pg.2.2	臨床研修が組織的・計画的になされる体制がある	要検討	臨床研修の業務が多岐になり、研修医数が漸増傾向の現在、事務担当者を専従とすることについて検討されたい
Pg.2.2.1	計画的に実施するための事務担当者が確保され、機能している	b	臨床研修の業務を2名の総務課職員が兼務している
Pg.2.2.2	研修プログラムごとにプログラム責任者が確保され、機能している	a	
Pg.2.2.3	必要な臨床研修指導医が確保されている	a	

Pg.3	臨床研修病院としての教育研修環境の整備	
Pg.3.1	臨床研修病院としての教育研修体制が適切である	要検討 研修医が CPC に参加する環境を整備されたい。ならびに病理医と連携する全科的なデスカンファレンスを開催する仕組みを構築することについて検討されたい
Pg.3.1.1	一般外来研修が適切に行えるよう外来部門での教育研修体制が整備され、適切に運営されている	a
Pg.3.1.2	救急医療分野の研修ができる環境となっている	a
Pg.3.1.3	レポートを求められている症例が確保されている	a
Pg.3.1.4	臨床病理検討会(CPC)が適切に開催されている	b CPC の開催回数が少なく、研修医に欠席者がいる。CPC に代わる死亡症例検討会、デスカンファレンスの開催が不定である
Pg.3.2	患者の診療に関する情報を適切に管理している	要検討 退院時サマリーの作成率が 100%となるよう検討されたい
Pg.3.2.1	専任の診療情報管理者が配置されている	a
Pg.3.2.2	診療に関する諸記録の管理が適切になされている	b 退院後1週間のサマリー作成率が 100%でない
Pg.3.3	医療に関する安全管理体制の確保がなされている	要検討 インシデントレポートには、薬剤部からの疑義照会も含まれることを認識してインシデントレポートの提出を研修医に習慣づける工夫が望まれる。時間外に医療安全に関する相談をどこで対応するのか、患者・家族に具体的に分かりやすく明示することについて検討されたい
Pg.3.3.1	安全管理者を配置している	a
Pg.3.3.2	安全管理部門がある	a
Pg.3.3.3	臨床研修における安全確保のための活動が行われている	b 薬剤部からの疑義照会が多いが、医師のインシデントレポートの提出数は少なく、研修医からは年間 0.6 件/1 人である
Pg.3.3.4	研修医の医療事故発生時の対応体制が確立している	a

Pg.3.3.5	組織的に施設関連感染対策が行われている	a	
Pg.3.3.6	患者相談窓口がある	b	医療安全に関する相談窓口はあるが、時間外の相談対応について明示されていない
Pg.3.4	研修をサポートするための設備が整備されている	要検討	中心静脈路を確保するシミュレーター、その他を準備されたい
Pg.3.4.1	図書・雑誌・インターネット利用環境が整備されている	a	
Pg.3.4.2	研修医のために病院内での個室性が配慮されている	a	
Pg.3.4.3	医学教育用シミュレーター、医学教育用ビデオ等の機材が活用されている	b	中心静脈シミュレーターが用意されていない

Pg.4	研修医の採用・修了と組織的な位置付け	
Pg.4.1	研修医の募集・採用の方法が適切である	要検討 ホームページにて研修プログラム自体を公表するとともに、試験委員には看護部門や他職種の委員を加えること、採用辞令に研修プログラム名、研修期間を明記することについて検討されたい
Pg.4.1.1	研修医の公募規程がある	a
Pg.4.1.2	研修プログラム等が公表されている	b 研修医の募集要項や処遇は公表されているが、研修プログラム自体が公表されていない
Pg.4.1.3	研修医の採用試験が適正に行われている	b 採用の試験委員は医師のみとなっている
Pg.4.1.4	採用辞令が適切に発行されている	b 採用辞令に、研修プログラム名、研修期間が記載されていない
Pg.4.2	研修医の募集および採用が計画的になされている	適切
Pg.4.2.1	募集および採用について計画的になされている	a
Pg.4.2.2	募集および採用についての結果が評価され見直されている	a
Pg.4.3	研修医の研修規程が明確である	適切
Pg.4.3.1	研修医の研修規程がある	a
Pg.4.3.2	研修医が患者を担当する場合の役割が明示されている	a
Pg.4.3.3	病棟、手術室、救急室、一般外来、当直等における研修実務に関する規程があり支援及び指導体制が明文化されている	a
Pg.4.4	研修医に対する適切な処遇が確保されている	要検討 研修病院と研修医の関係性は重要であることから、その重要性が理解できる組織図上の位置付けを検討されたい。また、労働者性と研修との整合性について指導医や研修医に周知するとともに、時間外手当についても検討されたい

Pg.4.4.1	研修医の位置付け・処遇に関する規程が明確になっている	b	研修医の組織図上の位置づけについて、他の職種と並列的に位置付けられている。また、労働者性と研修との整合性について、指導医や研修医に周知されていない
Pg.4.4.2	定期的に健康管理が行われている	a	
Pg.4.4.3	当直・時間外研修の際の処遇に配慮がなされている	b	時間外手当が設けられていない
Pg.4.5	臨床研修の修了の手続きが適切である	適切	
Pg.4.5.1	研修管理委員会に研修医ごとの評価・報告が適切に行われている	a	
Pg.4.5.2	必要事項の記載された臨床研修修了証が適切に発行されている	a	
Pg.4.5.3	修了が認められない場合の手順が確立している	a	
Pg.4.6	個々の研修医に関する研修記録等が整理・保管されている	適切	
Pg.4.6.1	研修を受けたすべての研修医(中断者を含む)についての記録が整理・保管されている	a	
Pg.4.6.2	記録の内容が適切である	a	

Pg.5	研修プログラムの確立	
Pg.5.1	研修プログラムが適切に策定されている	適切
Pg.5.1.1	理念・基本方針に沿った研修プログラムである	a
Pg.5.1.2	研修プログラムには必要事項が明示されている	a
Pg.5.1.3	研修プログラムが研修医一人ひとりに周知されている	a
Pg.5.1.4	研修医が積極的に研修プログラムを選択し研修に取り組む体制が確保されている	a
Pg.5.2	研修プログラムが研修プロセス(計画、目標、方略、評価)に沿って実施され、評価されている	適切
Pg.5.2.1	プログラムごとに内容に適した研修期間(スケジュール)が設定され、目標を達成できるよう実施されている	a
Pg.5.2.2	研修プログラムの評価が行われている	a
Pg.5.3	「医療人として必要な基本姿勢・態度」が身につけられる内容がプログラムの中に適切に組み込まれている	適切
Pg.5.3.1	基本的姿勢・態度について身につけられる内容が組み込まれている	a
Pg.5.3.2	インフォームド・コンセントについて身につけられる内容が組み込まれている	a
Pg.5.3.3	問題対応能力を修得する研修(EBM の実践・生涯自己学習習慣・患者への対応)が組み込まれている	a
Pg.5.3.4	安全管理についての研修(安全な医療の遂行・危機管理参画・安全確認・施設関連感染対策)が組み込まれている	a

Pg.5.3.5	症例呈示と意見交換を行う研修(カンファレンス・学術集会)が組み込まれている	a	
Pg.5.3.6	地域医療(地域包括ケア、プライマリ・ケア)が組み込まれている	a	
Pg.5.3.7	医療の社会性について身につけられる内容がプログラムの中に適切に組み込まれている	a	
Pg.5.4	「経験すべき診察法・検査・手技」が身につけられる内容がプログラムの中に適切に組み込まれている	要検討	研修医が死亡診断書の作成の実際を経験できる仕組みの構築について検討されたい
Pg.5.4.1	診療における医療面接(对患者:コミュニケーションスキル、聴取・記録、指示・指導)が組み込まれている	a	
Pg.5.4.2	基本的診療能力が身につけられる内容が適切に組み込まれている	a	
Pg.5.4.3	基本的な身体診察法(病態把握、全身観察、頭頸部、バイタルサインと精神状態、皮膚)が組み込まれている	a	
Pg.5.4.4	基本的臨床検査(検査適応判断、実施、結果解釈)が組み込まれている	a	
Pg.5.4.5	基本的手技(手技の適応決定・実施)が組み込まれている	a	
Pg.5.4.6	基本的治療法(治療法の適応決定・実施)が組み込まれている	a	
Pg.5.4.7	医療記録(診療録・処方箋・指示箋、診断書、死亡診断書、証明書、CPC レポート、紹介状と返信)を適切に記載する仕組みがある	b	死亡診断書の記載についての指導は行われているが、実際に一度も作成する経験のないまま修了する研修医がいる
Pg.5.4.8	診療計画(診療計画作成、CP 活用、入院判断、QOL を含めた総合的管理計画への参画)を適切に作成し、評価する教育が組み込まれている	a	

Pg.5.5	経験すべき症状・病態・疾患について鑑別診断、初期治療を行う能力が身につけられる内容が適切に組み込まれている	適切
Pg.5.5.1	頻度の高い症状について組み込まれている	a
Pg.5.5.2	緊急を要する症状・病態について組み込まれている	a
Pg.5.5.3	経験が求められる疾患・病態について(患者を受け持ち診断・検査・治療方針、術後管理等の症例レポート)組み込まれている	a
Pg.5.5.4	特定の医療現場の経験(救急医療、予防医療、地域医療、周産・小児・成育医療、精神保健・医療、緩和ケア・終末期医療)が組み込まれている	a

Pg.6	研修医の評価	
Pg.6.1	研修医を評価するシステムが確立され、実施されている	適切
Pg.6.1.1	評価者が明確で、評価者の構成が適切である	a
Pg.6.1.2	評価項目・基準が明確で、全体的な項目の構成が適切である	a
Pg.6.1.3	評価者・評価項目が研修医に周知されている	a
Pg.6.1.4	研修医の評価が適切に行われている	a
Pg.6.2	研修医ごとに評価結果に応じて研修医への対応が適切になされている	適切
Pg.6.2.1	評価結果が報告され、適切な指導がなされている	a
Pg.6.2.2	研修実績が基準に充たない場合の対応が決められている	a

Pg.7	研修医の指導体制の確立		
Pg.7.1	指導体制・診療上の責任者が明示されている	適切	
Pg.7.1.1	研修分野ごとに指導体制と臨床研修指導医、その他の指導者が明確になっている	a	
Pg.7.1.2	臨床研修指導医の役割が明示され、実践されている	a	
Pg.7.1.3	適任の臨床研修指導医が指導を行う体制が確保されている	a	
Pg.7.1.4	指導者が指導を行う体制が確保されている	a	
Pg.7.2	研修医が行う診療行為に対してチェックする体制がある	適切	
Pg.7.2.1	研修医の診療行為について指導医の指導を受ける体制が具体的に決められている	a	
Pg.7.2.2	研修医の記載した診療録を適切にチェックし指導する仕組みがある	a	
Pg.7.2.3	研修の記録について指導し、評価がなされる体制がある	a	
Pg.7.3	臨床研修指導医の評価が適切に行われている	要検討	ベストティーチャーの表彰は一つの評価結果のポジティブフィードバックであるが、プログラム責任者、副院長、院長(理事長)が当該の指導医にアドバイスを与えたり、ネガティブなフィードバックをしたりする仕組みの構築も必要である
Pg.7.3.1	評価方法が明確である	a	
Pg.7.3.2	評価結果に対する検討が行われ、活用されている	b	指導医への評価結果のフィードバックが十分になされていない

Pg.8	修了後の進路		
Pg.8.1	自施設や他施設でその後の研修が継続できるように配慮している	適切	
Pg.8.1.1	専門研修の情報提供や適切な評価による紹介がなされている	a	
Pg.8.2	正規の職員として採用されるシステムが整備されている	適切	
Pg.8.2.1	システムが明文化されている	a	
Pg.8.2.2	採用した実績がある	a	
Pg.8.3	修了した医師の生涯にわたるフォロー体制がある	要検討	修了者の同窓会に類する組織の整備を検討されたい
Pg.8.3.1	システムが明文化されている	b	生涯の追跡体制が未整備で、音信不通になっている修了者がいる。連絡を維持する仕組みが十分とは言えない